

移住者日記

No.3

飯舘村森林組合

佐々木 淳一 様



過去に災害ボランティアで千葉県を訪れた際に、木こりの方々が倒れている木をチェーンソーで切断し、撤去している姿に惹かれ、林業に携わりたい気持ちが芽生えました。元々自然に囲まれた環境が好きだったこともあり、移住を検討し始め、2020年7月に飯舘村森林組合への就職を機に飯舘村に移住しました。地元である宮城県では、交通量や人通りの多い場所に住んでいたため、静かで豊かな自然を有した飯舘村での暮らしをととても気に入っています。

東日本大震災の発生時は宮城県におり、屋外で仕事をしていました。近くにあったブロック塀が倒壊するほどの大きな揺れだったため、仕事を中断して帰宅しました。自宅は地盤が固い山間部にあったため、幸いなことに被害はありませんでした。

飯舘村に移り住む際、放射線に関する不安等はなく、家族や友人からも特に放射線を心配するような声はありませんでした。移住先を検討していた際、飯舘村を下見に訪れた時点では、まだフレコンバッグが置かれている場所があり、少し物々しく感じましたが、飯舘村では、帰還困難区域を除くすべての地域で避難指示が解除されており、そこで暮らしている方々がいるため、生活する上で気になることはありませんでした。現在は、村の広報に掲載されている村内各地域の放射線量マップに時折目を通してしています。

飯舘村森林組合では、木の伐採等をするにあたり、県や市町村等が主体となって実施している「ふくしま森林再生事業」の一環として、組合が所有する測定器を使って作業地点の空間線量率を測定し、環境への影響を確認しています。また、飯舘村では、道の駅までい館においても、自家消費野菜等の放射能検査を行っており、私も山で採れたきのこを持ち込んで検査をしてもらったことがあります。高い数値が出る個体もありましたが、中には食品中の放射性物質の基準値である 100Bq/kg を下回る個体もあり、実際に測ることによって分かることもあると感じました。

まもなく飯舘村に住んで2年半になりますが、不便さを楽しみながら生活することができています。むしろ、生活用水に湧き水を利用しているため、おいしい水をいつでも飲むことができることや、貴重な野生生物に出会えることなどの魅力の方が大きいと感じています。いつか自給自足の生活を送れることを目標に、これから先も飯舘村で暮らしていきたいと思います。